

第9節 要援護者の支援

9. 1 要援護者の安否確認及び緊急入所

(1) 栗原市

栗原市における要援護者対応は市民生活部が担当することとなっている。発災後の市民生活部の動きの様子と、それに伴う要援護者の安否確認の状況は表 9.1.1 のとおりである。

これによると地震発生の翌日（15日）の15:00（地震発生から約30時間経過）には全地区での確認がとれた。

表 9.1.1 安否確認の状況

| | 市民生活部の動き | 要援護者の安否確認状況 |
|----------------------|---|--|
| 8時43分 | 職員召集（震度4以上） | 安否確認開始（震度4以上） |
| 10時00分 | ※部の職員の8割以上が出勤 ①福祉施設の被害状況確認 ②浄化槽の漏水、漏油事故多発 | ①各総合支所に対し、30分以内に要援護者の安否確認を報告するよう指示 → 電話による伝達が困難 |
| 12時15分 | 避難所を開設し職員派遣と物資輸送開始 | 高清水・鶯沢地区の安否確認 |
| 12時30分 | ①公共施設の被害情報やごみ処理施設の復旧作業などの被災情報が入る。 | 瀬峰・志波姫・花山地区の安否確認終了（行方不明なし） ※花山地区は電話不能のため職員が現場へ出向き確認 |
| 13時30分 | ①夕食に向け炊き出し準備 ②避難所に保護師追加派遣 | 一迫地区の安否確認終了 ※消防団と協力し確認体制を組む |
| 15時00分 | 栗駒・花山の避難所に毛布・日用品セット送致 | ①築館・若柳地区の安否確認終了 |
| 15時00分～ 17時00分 | ①食材が届き次第、炊き出しを順次開始 ②避難所用布団等の物資が到着し配送 | ①栗駒地区の安否確認進まず、市民生活部から直接確認開始 → 被災者多く人的不足と電話不通による。 ②金成地区の安否確認終了 |
| 17時00分～ 21時00分 | ①市内施設の平常利用に向けた、復旧対応 ②避難所運営に終始する。 ※この時点でテレビを通じて被害の様子を知る。 | 21時40分 栗駒地区は耕英地区を除き安否確認終了。耕英地区は陸路なく、完全に孤立している。→ 地震から13時間経過 ※自衛隊は徒歩で駒の湯まで踏破し、捜索へ。 |
| 23時25分 | 県より災害救助法の適用のFAX受理 | |
| 6/15 4時30分～ 終日 | ①業者より朝食用食材確認連絡あり ②耕英地区へ食材をへりで輸送準備 ③終日、被害対応と福祉・衛生施設復旧、避難所運営に終始 | 15時00分 栗駒耕英地区に衛星電話が設置され安否確認が全地区で終了する。 → 地震から30時間経過 |

第9節 要援護者の支援

(2) 奥州市

地震発生直後より、市、市内社会福祉法人、民生委員、消防団員、行政区長など地域の役割分担に応じて1人暮らし高齢者宅など安否確認を行った。

特に被害の大きかった衣川区においては、市職員と民生委員及び特別養護老人ホーム職員の訪問及び電話によって、高齢者一人暮らし世帯と高齢者世帯全戸の安否確認を実施した。

また、介護保険施設等への緊急入所は、特例措置として1名を特別養護老人ホームへ入所させた。

その他、被災地における要援護者への対応は以下のとおりである。

■水の供給活動

市及び社会福祉協議会の協力で実施。

| | | | |
|--------|--------|------|----------------|
| 水の供給内訳 | 一人暮らし | 28世帯 | (6月14日～水道回復まで) |
| | 高齢者世帯 | 15世帯 | (6月14日～水道回復まで) |
| | 日中高齢世帯 | 6世帯 | (6月14日～水道回復まで) |
| | 身体障害世帯 | 4世帯 | (6月14日～水道回復まで) |
| | その他世帯 | 1世帯 | (6月14日～水道回復まで) |

※ いずれも上記世帯で、運搬手段の無い世帯に供給した。

(3) 一関市

一関市では発災直後から民生委員、消防団員等が一人暮らし高齢者世帯の安否確認を実施した。

また、災害対策本部から市内の老人福祉施設、幼児施設、学校等における安否確認を実施するよう指示し、全施設の確認を実施した。避難勧告を発令した地域内には、避難プランに災害時要援護者として登録している人はいなかった。また、要援護者の緊急入所もなかった。

9. 2 災害時外国人サポート・ウェブ・システム（宮城県）

宮城県は、日本語の習得が十分でない宮城県内在住の外国人向けに、災害情報を外国語メールで伝える県の「災害時外国人サポート・ウェブ・システム（EMIS）」を平成20年3月27日から運営を開始した。

このシステムは、暴風・洪水などの気象警報、津波の注意報・警報、震度4以上の地震情報を電子メールで配信するもので、利用者は日本語、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語の中から希望する言語を選択・受信でき、利用には登録が必要となっている。

この災害情報外国語配信システムは、「宮城県総合防災情報システム（MIDORI）」に配信された災害情報を自動翻訳するために、タイムラグがほとんどない。

今回の岩手・宮城内陸地震においては、県内の外国人等に対して、この災害時外国人サポート・ウェブ・システムにより、地震情報を多言語（英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語）に翻訳、登録された携帯電話等に配信するとともに、道路の通行止め箇所や鉄道の不通箇所等の状況をウェブサイト上に掲載するなどの情報提供を行った。